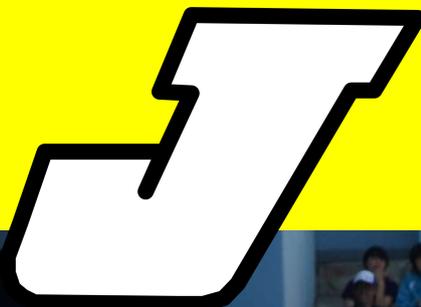


櫻蔭陸友



第21号



発行元：櫻蔭陸友会（神中・神高・希望ヶ丘高校陸上競技部OB・OG会）

【会長御挨拶】

会長 平本 徹（高24）



櫻蔭陸友会会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より会の諸活動に、多大なるご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。本会の主事業でもあります櫻蔭陸友会会報の発行も第21号となりました。原稿協力をして頂いた方々、資料提供して頂いた方々、原稿依頼から校正、発送作業に携わった事務局スタッフ、そして活動資金を毎年協力して頂いているOB・OGの方々のご支援があつてこそ、地道に継続できたものと感謝申し上げます。

しかしながら、毎年母校食堂をお借りして開催しておりました総会・現役員との交流会が、事務局の諸事情のため昨年度は開催できませんでした。希望ヶ丘高校陸上競技部ホームページに中止連絡を載せましたが、あらためましてお詫び申し上げます。ボランティア精神で協力を惜しまない事務局スタッフですが、本来のご自分のお仕事の急な変化や健康問題が生ずると、交替して支障なくカバーできるほど強い組織ではないと痛感する次第です。本年度は、準備万端対応して、総会を開催する所存です。また事務局員として協力して頂ける会員がおられましたら是非ともご連絡をお願い致します。

さてニュースとしてはやや古いかもしれませんが、昨年4月上旬に夕食中にNHKの家族に乾杯をボーッと見ていたところ、九十九里浜の波際で老人がたつた一人で蟹目当ての投げ網漁をしていました。何をしているのかと笑福亭鶴瓶とゲストの草刈正雄がその老人に語りかけ、陸上で前の東京オリンピックの出場を目

指していた、との会話で箸が止まりました。その老人はK18〜K43辺りの四半世紀にわたる陸上部員がお世話になった顧問、岩壁達男先生でした。かなり長い尺で出演していました。勝浦にお住いの先生、お元気そうでした。ご覧になった同窓もいらつしやると思いますが、うれしさもあり、ご披露しました。

令和元年度の母校陸上部の活躍は、この10年と比べると結果としてはやや低調であつたかと思われず。昨年関東大会に駒を進めた400mの濱野君、走り高跳びの後藤君を応援しに茨城県笠松に行きましたが、奮闘するも濱野君は決勝8位、後藤君もベスト記録を出せず、6位までに与えられるインターハイ出場がとぎれてしまいました。残念ではありましたが、全力を出しての勝負の世界の厳しさと清々しさも感じました。その他の大会結果や母校部員の活躍やOB・OG諸氏の陸上競技へのチャレンジの様子などは本会報をご覧下さい。県新人戦結果は5位、6位に多数の部員が入賞しており、顧問の先生方の御指導のもと今シーズンの飛躍が期待されます。

しかし、世界中に広まってしまった新型コロナウイルス感染症により、日本も大きな打撃を受けております。経済活動の低迷混乱、休校措置による教育界の混乱（部活動などもつての外）、各種スポーツ大会やイベントの延期や中止等、生命を守るために派生する犠牲が今後さらに大きくなってしまふのか人類が勝利すると確信しますが、日本中、世界中の人が不安を抱えながら直近の生活の仕方を模索する状態となつてしまいました。本ご挨拶文を執筆中の3月中旬現在、4月の神奈川県記録会の中止情報を得てはおりますが、会報を発行する頃（4月）にはコロナウイルス惨禍が終息に向かい、正常に近い状態の中で大会が開催され、現役員が全力を発揮して勝負できる場面、土俵が奪われることがないよう切に願うものです。東京オリンピックも1年延期されましたし、日本の大震災からの復

興、コロナ渦からの回復、喜びを味わい噛みしめるためにも是非ともこの目で見たいものです。

事務局としましては、櫻蔭陸友会諸活動を今後もできる限り活発に活動していきたい所存です。2023年度には創部100周年記念式典の挙行を予定しております。また、母校陸上競技部の活動支援をより充実させていくためにも是非とも会の運営費、支援費のご協力を心に留めて頂き、事務局スタッフへの加入参加も含め、会員の皆様の更なるご協力とご支援をよろしくお願い致します

【ずっと陸上にかかわってきて…】

根本千尋（高29）



今、高体連陸上専門部はともやりやすい。身内（希望ヶ丘派閥！？）がかなり強い。（そう感じるのは自分だけか）私も昨年まで専

門委員の強化部に所属していたが、なんとたつて専門部のトップである部長が昔ハンマー選手だつた吉野（後輩だからあえて呼び捨て！年齢が少し上というだけで優越感！）実務上の中心である委員長がハードラー金沢（当然、後輩。昨年末は台風のあとの駅伝やその他の雑用で疲れ気味。でも新年は箱根駅伝で東海大学の両角監督の車両後部座席にいて偉そうにテレビに沢山映っていた…がんばれ金沢！）、そして相談役のような立場で、いつも腰が低く、誰にも優しい元ポール選手、平本先輩。また、陸協のお偉方に、大学受験の時に



している。

私はというと、昨年(2019年3月)に無事(！?)

定年退職。現在再任用教諭として、3年後には廃校となる県立逗子高校という職場で静かに穏やかに過ごしている。何故、無事(！?)なのかというと、県立高校教員として二度ほど県からご指導を頂いたから(二回とも生徒の為にやったことだと今でも思っているが、残念ながら事故扱い。幸い新聞には載らなかった。もう時効なので深く突つ込まないで;)であり、今考えればよく定年退職というゴールまで走りきれたなという思いで一杯である。(正直、今の時代だったらかなり厳しい。若い先生方頑張つて!)高校の教員として、また陸上部の顧問として働くようになって、残念なことに自分の現役時代の高校生活は後悔ばかりということに気が付いてしまった。人生もう一度やり直せるとしたら高校1年生の入学式に戻りたい。と、今でも思っている。

今から30数年前、県立高校の教員を目指して採用試験を受験した。(その当時の自分は現役高校時代が楽しく充実していたと錯覚していたと思う。人生のピークと勘違いするくらい)正直な気持ち、そんなに楽しかった高校で陸上部の指導をしたいという理由だけで

下宿先のアパートに泊めてくれて、「落ち着くから」と〇〇まで飲みさせてくれた、いつも寛大な往年のスーパースター室橋先輩。など等お身内が主要なポストにたくさんいる。実に恵まれた環境だ。でも派閥というほど偉そうにしていないところが希望ヶ丘のOB方々という感じが

教員を目指していた。高校、大学とろくに勉強をしておかなかった自分にとってこの教員採用試験の前だけは人生の中で一番勉強していたかも知れない。(合格した皆様は、「大して勉強してこなかったけど何とか受かったよ。」とお決まりのような言葉を口にする方が多い)その甲斐あって一発で合格出来たのは喜ばしいことだったが、ここで一つ落とし穴があった。翌年の高校1年生が丙午に生まれた生徒だったみたいで、入学予定の生徒数が少ないという理由で、「中学校の教員に回してもらってもいいですか?いつでも高校に異動できますから安心してください。」と天使のささやきのよう

な、県の担当者のお言葉。当時は合格した後、合格者名簿に載っても採用されない。ということがあったという噂(噂ではなく事実だったと思う)があったので、二つ返事で、満面の笑顔でイエスと言ってしまった。(ずっと後に聞いた話ですが、NOと言って高校に採用された人も結構いたみたいである。)ということ希望とはまるで違い、藤沢にある湘南台中学校という新設2年目の学校に赴任した。

湘南台中学校の陸上部は人数がとても多く、100人超えという大所帯。(自分のクラスだけで15人以上。ちなみにスタート練習は二列でやっていた(笑)。ここで大きな判断ミスをしてしまった。「いつでも高校に異動していいよ」という言葉を完全に忘れていた。新しい職場で経験もない自分は毎日必死に教育活動して(たまに遊んでいましたが)、働き方改革なんて全く無視して、朝練から放課後の部活、そして生徒指導。そのあとの教材研究にお付き合いの飲み会と楽しいことも悲しいこともたくさん味わっていた。その時の陸上部の上司(髭をはやしたパンチパーマの強面、後になつて凄く優しい先生だと気づいた)が「市内(私立も含めて20数校)で総合優勝したら高校への異動を許す」(今じゃ完全なバワハラ)と飲み会のたびに言っていたので、自分は部活指導に火がついていた。その甲

斐あって、2,3年目に準優勝。そして4年目に見事!総合優勝!嬉しくて嬉しくて、生徒の前でウルウル泣いてしまったことを今でも思い出す。(ここですんなり高校への希望を出せばよかったのに(涙)また来年!また来年もと、どんどん中学の教育にのめり込んでいつている自分に全く気がつかなかった。正直その頃は高校への異動なんて頭の片隅にもなかった。あつという間に10年間で過ぎ、次に明治中学(藤沢市立です)に異動。ここが最悪だったというか、充実し過ぎた。在任した9年間+その翌年を合わせて10年連続の総合優勝。全国大会にも毎年のように出場し、全国入賞も複数(ほとんど自慢)。その頃の自分は毎年連覇を続けることしか考えていなかった。(自分の指導力は最高!と大きな勘違いもして:井の中の蛙なのに)おまけに学校の生徒指導も県のワースト5に入るくらい荒れよう(喫煙、対教師暴力、いじめ、授業中のグラウンドへのOBのバイク侵入など語り始めたら1日かかりそうなので割愛)で、その中で生徒指導担当の主任を務めていた。(自分がこの学校には絶対に必要とまた勘違いしていた。ちなみに学校が荒れると職員の結束力が増し職員の仲も良かった)そんな中で生活していたので毎日が充実し過ぎていた。(正直9年がアツという間に過ぎていった思いで一杯)あれっ!高校への異動は???「これが2回目の大きなミスであった。たまに留まって冷静に今の自分と向き合う時間って大切なんだよね。次の異動先が海の真ん前にある湘洋中学。ここは鶴沼地区のいい家庭のお子様が多い。ということ、裏を返せば親はかなりうるさい(涙)。ちなみに、希望ヶ丘でハードル選手として活躍し、インターハイにも出場した萩原さや(慶応大学でも陸上部で活躍)はこの卒業生。毎日大変楽しく、間違つて8年も在任してしまった。そして50歳を目前にしてふと、残りの教員生活の年数を数えている自分がいた。やつと冷静に自分と向き合えた瞬間だった。そ

うだ！「俺は高校で陸上の指導がしたかったのだ。やばい！もうすぐ50だ！」その後本当にすぐに高校への異動希望を出した。当然ながら20数年前の美味しい話はすでに時効であった。一応面接試験を受験。年齢のこともあつてか、なかなか異動の道は簡単ではなく、3年目に受験したとき、湘南三浦教育事務所の高橋さんには「もうベテランだし、高校では必要とされていないみたいだから、いい加減諦めたら！中学の若手の面倒を見てよ」と、嫌みまで言われる始末（40歳後半だから、ごもつともな話だが）それでも粘って4年目にしてようやく合格。ちょうど50歳。「やったぞ根本！」ものすごく嬉しかった。後から聞いた話だが、その年は吉野君が勤めていた高校の校長先生（希望ヶ丘卒の大先輩）の口添えが大きく影響したらしい。（持つべきものは友、いや大先輩！ありがとうございしました）50歳を迎える年であった。縁あつて、その時通っていた湘洋中学にとても近い県立藤沢西高校に異動。おまけに1年目から陸上部のメイン顧問！（「自分分はもっている」と変にうぬぼれていた）長くなったので皆様飽きてきましたよね。でも続行！。

さて、藤沢西高校の顧問になり（あつ、ここは教員になりが先にあるべきか）、初めて希望ヶ丘高校を意識した。生意気にもライバル視。（当時の顧問は福岡先生）藤沢西高の陸上部は最初の年10人くらい。

かなりの実力差があつた。でも毎日ワクワクした日々を送っていた。「今までで一番楽しい。ついに俺は高校に来たんだ。」としみじみ思っていた。以前からいらつしやつた加茂先生（出雲高校・筑波大卒というエリートコース）がとても大らかな優しい人で、「これから藤沢西高に長くいる人がメインをやった方がいい」とあつさりメイン顧問を譲ってくれた。（本当は複雑な気持ちだつたと思うが、加茂先生すごく感謝しております）2年目にはユニフォームやジャージ等も全面的にチェンジ（これまた何も言わずに目をつむってくれ

ていた。「加茂先生ありがとう」その年、中学から全日中出場者が二人、関東大会出場者が二人も入学してきて（当時は前期入試制度あり）、にわかに活気づいてきた。今まで中学の顧問をしていたことが正に幸いした瞬間だつた。（知り合いの中学の先生からの「祝儀」）逆に責任とプレッシャースイッチもはいつた。その年のインターハイ予選の県大会において女子走幅跳びで見事に6位に入り（その時に踏み切りの判定をしていたのが、自分！でも公正にやっていたつもり）初の関東大会出場。吉野がすぐに駆けつけてくれて「先輩おめでとう」と祝福してくれたことを今でも覚えている。翌年も女子走高跳びで全日中に出場した生徒（湘洋中学時代、当時1年の自分の教え子）が入学、2年次3年次と見事にインターハイに出場してくれた。その後



女子やり投げ、男子走幅跳び、三段跳びで立て続けにインターハイ出場、走幅跳びでは7m65を跳び、山梨インターハイで準優勝（松添さん 上写

真）！ジュニアユースでも準優勝！（両大会とも優勝は法政大学第二高校の佐久間君だったので、神奈川県でワンツー）そして全日本室内では見事に優勝。（ついに全日本チャンピオン！）リレー競技では女子チームが400mR・マイル（1600m）のどちらかで8年連続で県の決勝に残る結果と女子駅伝も関東大会出場を果たし、自分の中では充実した10年間を過ごすことが出来た。その間、二回ほど希望ヶ丘高校と合同練習をさせていただいた。またコーチやOBにも恵まれた！「高校の教師になつていなければ、自分の現役時代を振り返ることはなかったと思う。高校の3年間は凄く貴重な3年間、（今の自分の年齢だったら10年

間分くらいに相当するかもしれない。）だからこそしっかりと勉強しなきゃ！おもいっきり部活やらなきゃ！」って高校生に言い続けてきた。自分のことは棚に上げて：まあ、反面教師つてやつですか（笑）。本当に自分の高校時代、勉強はさぼり続けてきた。部活も中途半端。人よりも努力しているつもりだった！でも、今の自分に言わせたら「オイ！もつと考えて練習しろよ、もつと工夫しろよ根本！」となつてしまう。やつぱり自分の高校時代は後悔ばかり。唯一高校時代の精神的なやり直しが出来たことは、前に書いたように、教え子のインターハイ走幅跳びの準優勝。自分はインターハイに二度出場したが、どちらも予選落ちで悔しい思いで帰ってきた。そして高校の部活引退。その悔しさを見事に忘れさせてくれたのが教え子の活躍であつた。

そんな自分だったが、数年前に先輩の職員から「ふっ！」と楽になる言葉を頂き、それから心に留めていけることがある。それは「人生、何度でもやり直しができる」という言葉。軽い言葉にも感じるが、後悔していたことが次に生きたり、新しいことに挑戦していったりと大きなエネルギー源になった。今年62歳になる自分だが、まだ再任用職員として頑張れるエネルギー（現在は家から職場の逗子高校まで往復22kmの道のりを自転車で行っている）になつている。ちなみに自分は副顧問（メイン顧問は20歳代の若者に譲つて）ですが陸上の指導もやつている。嬉しいことに藤沢西高時代の教え子（走幅跳びの全国チャンピオン。未だに現役）が部活に顔を出してくれる。高校の教師としての残りの年数が少ない分、1年おきでもいいので、色々な高校を見てみたいと思つている。つまらない平凡な自分の教師生活、少しでも子供たちの人生にプラスの影響となつて、背中を押すことが出来たら、勇気づけられたら、それだけで嬉しく思う。拙い、まとまらない文章を最後まで付き合ってくれたOBの皆様には本当に感謝します。

ではOB、OGの皆様の健康とお幸せを祈りつつ閉じさせていただきます。ありがとうございました。

【高校時代の思い出 グラウンドと共に】

白木(細野)記子(高29)

初めて、希望ヶ丘高校のグラウンドを見た時の驚きと感動は40年以上たった今でも、昨日のここのように思い出されます。それまでの自分は街中の中学校のちっぽけな校庭で、サッカーボールとや野球のボールが飛び交う中、それらをかい潜りながら、走っていました。たぶん1周は200m位で、希望ヶ丘高校陸上部のグラウンドと同じくらいだった様な気がします。

外部からのコーチとほぼマンツーマンの指導の元、少人数の部活でしたが、走るのが楽しくしやうがないと言った感じでした。高校、大学とずっと走っていたかと思っていましたので、高校進学時には陸上競技優先で高校を選ぼうと思っていました。どの高校が良いのか、家から通いやすい近くの高校が良いのか、どんな練習環境なのか、いろいろ悩みました。亡き父が「実際に行って見て考えたら？」と学区内や学区外でも近場にある高校など5〜6校を車で回ってくれました。

緑ヶ丘高校や桜ヶ丘高校、平沼高校など。最後に学区内だけけど一番遠い希望ヶ丘高校のグラウンドを階段の上から見た時は、もしかしたら陸上競技専用グラウンドかもと「やっ！見つけ！」と思いました。絶対この高校へ進学したいという強いモチベーションになりました。

自分が入学する約20年前に先輩方が苦労して作っていただいたグラウンドとは梅雨知らず、当時学区内

トップの進学校を、自分の学力で受かるかどうかを二の次にしてグラウンドで、受験校を決めたのは、今から思えば、受かったから良いものの恐ろしいことです。

自宅最寄り駅は京浜東北線の石川町駅で、朝は凄いらっしゅうでした。4〜5校の中高校生が降りてくる中、やつと電車に乗り込みます。横浜駅でもホームからあふれんばかりの人をかき分け、相鉄線へ向かいまです。大和海老名行きに乗れるとホッとしたものです。

この家から高校までの約一時間の通学路は、慣れないうちは、部活の荷物や教科書の重みがとてもきつかったです。そのうち部室のロッカーを使わせてもらえる頃から、荷物を置ける様になり少し楽になったのを覚えていきます。朝のラッシュで痴漢に遭うのが嫌で、教室に一番乗りするくらい早めに家を出るようになりました。帰りは帰りで、JRの帰宅ラッシュにあい、押されて関内駅のホームと電車の間に片足を落としたこともありました。今でも電車に乗るたび思い出すトラウマです。それでも休まず通学したのも、陸上競技部員として練習に明け暮れる充実感があつたからこそと思えます。

一年生のころは、自分の中学校から進学したのは私一人でしたので、クラスになかなか馴染めませんでした。隣のクラスに同期の滝田さん、美和さん、徳山さんがいてくれたおかげで休み時間に会ってホッとしてました。2、3年の先輩方がとても大人に見えて「カッコいい！」と美和さんとキヤーカー言っていたのを思い出します。

小さな中学校の少人数の陸上部出身でしたから、希望ヶ丘高校が伝統ある陸上競技部とは知らず、入部したわけですが、大会での先輩方の活躍を目にし、一緒に走ってくれる仲間がいて、希望ヶ丘高校に進学できて本当に嬉しかったです。部内の雰囲気は体育会系の厳しい上下関係もなく、和気あいあいでした。写真を



いつもいっぱい撮ってくれていた林先生、ありがとうございました。陸上部の思い出は、林先生の写真があつたからこそ鮮明に残っています。雨の後のぐちゃぐちゃなグラウンドで走っている練習風景、夏合宿、アンツーカーの三ツ沢競技場、藤沢善行競技場、初めてのタータン国立競技場。

恩師、岩壁先生の一歩の思い出は体育教官室の先生に頼まれて、階段の上からグラウンドにいる先生を大声で呼んだ事です。何度もあつたので、大声を出す練習になりました。夏合宿の頃、汗をいっぱいかいて不足するからと塩の錠剤を舂めさせられた事もありました。

1年時、皆で考えたユニフォームやトレーナーのデザインが実現して着ることが出来た時は嬉しかったです。(ジャージが上下黄色になった時はちよつと引きました。)



大会ではいつも3年のマネージャーさんや先輩の横田さんがついてくださいました。雨のときのウエアアーだったり、自分では気がつかない細々とした事に気を配ってくれ、走ることに専念できるようにしていただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。

初めてタータンを走る事ができた国立競技場、

インターハイ南関東予選のリレーで大秦野高校に次いで2位になったのは嬉しい思い出です。三年生の時、関東大会後、大腿部の肉離れをおこしてしまい、長野インターハイでは百、二百、リレー共に予選敗退してしまいとても悔しい思いがありました。当時のリレーメンバーには申し訳なく、不完全燃焼だった気がします。宿舎が銭湯の二階で少々暑かった様な思い出もあります。心細く一人で参加した上尾の関東選手権で、岩壁先生にご馳走していただいた喫茶店のココアがとても美味しかったのも思い出です。

そして憧れの室橋先輩のいる筑波大学を受験することになり、受験科目の実技試験の為、冬の誰もいないグラウンドで一人で練習したのが、グラウンドとの最後の思い出です。大学受験の際には一年先に入学していた紙透先輩の宿舎の部屋に泊めていただいたり、大変お世話になりました。おかげで合格でき、入学式前から練習に参加しました。室橋先輩と同じグラウンドにいる事が楽しく嬉しかったのを覚えています。岩壁先生の母校でもあり、大学の先生方も岩壁先生をよく知っている方ばかりでしたので、入部した一年生250名の中でも覚えてもらうことができました。

思い出せば思い出すたび、先輩方や先生方のお世話になった事ばかりで、今更ながら頭の下がる思いです。

素晴らしい恩師に巡り合え、かけがえの無い友ができて、希望ヶ丘高校に進学して、本当に幸せでした。ありがとうございます。

末筆ながら創部100周年おめでとうございます。この伝統ある陸上競技部のはえある未来をお祈りしております。

根本さん、白木さん、人生の節目の振り返りありがとうございます。(木谷)

【現役の活躍】

昨年のシーズンでは、濱野さん(3年)の男子400mに期待しました。県総体では、47秒98と希望ヶ丘高校陸上部で3人目の47秒台に突入しました。



濱野さん 県総体400m決勝

突破出来るだろうと臨んだ関東大会の予選で厳しい組に入り48秒29 組3位(全体のプラス1番目)で通過しましたが力を使い果たしたようで決勝は8位49秒33に終わり、残念ながらインターハイ出場を逃しました。



鈴木さん 400mH

また男子走り高跳びの後藤さん(2年)が1m90を跳び5位で関東大会に出場しました。400mHでは鈴木さん(3年)が予選54秒78で決勝に残りました。決勝では少し力及ばず54秒4

5で8位、入賞しましたが関東大会を逃しました。鈴木さんは7月の横浜地区総体で歴代3位の54秒09で優勝しました。



濱県総体4x400mR 西田さん→鈴木さん

期待の男子4x400mリレーですが西田さん(3年)、鈴木さん、西村さん(2年)、濱野さんの4名で予選3分20秒46 決勝3分20秒15と7位で惜しく



濱野さん 県総体4x400mR ゴール

1で3分19秒01とチームベスト(歴代13位)を記録しました。全国有数の激戦区神奈川県、南関東を勝ち抜けるのがいかに難しいか改めて感じたシーズンでした。

他に、第一大会では女子400mの長崎さん(1年)の57秒93(昨年400mで47秒60を出した長崎さんの妹)と好記録を出しました。が、怪我で残念ながら新人戦は棄権しました。

9月の新人戦では、小室さん(2年)が男子3000mSCで9分50秒83で5位、清水さん(1年)走り高跳び1m90 2位で関東新人に出場、男子走り高跳びで佐々木さん(2年)5m33で6位、女子走り高跳びで上野さん(2年)1m54で6位入賞しました。女子の短距離では阿部さん(1年)が準決勝25秒53の好記録を出しましたが全体9位で惜しくも決勝を逃し、宮内さん(1年)が100m準決勝12秒75、記録しました。また上野さんは横浜市民選手権で1m57を跳び、昨年年卒業した小坂さん(高71)に次いで3位入賞しました。

駅伝は、9月の台風の影響で丹沢湖周囲コースが使えず、やむなく小田原の城山陸上競技場で各区分間、トラックレースの合計タイムで競われました。改めてトラックレースでも10k、8kをタイムを狙って走るのは高校生にとってかなり難しいと感じました。

今シーズンですがコロナウイルスの影響で大会がどうなるか予断を許しません。1、2年生ががんばっているのを期待しましょう。(木谷)

も関東大会を逃しました。

県選手権では同様のメンバ

2019年 現役の活躍

■神奈川県高校総体 5月11,12日 等々力(川崎) 5月18,19日 三ツ沢(横浜)
男子 200m(18日) 濱野兼多(3) 21'96(+0.2) 準 21'73(+2.5)
400m(11日) 濱野兼多(3) 準 48'33 決 47'98 2位PB
5000m(18,19日) 伊藤智紀(3) 15'57'25
400mH(12日) 鈴木悠真(3) 54'78 決 54'45 8位
3000mSC(11日) 伊藤智紀(3) 9'58'23
小室瀧太郎(2) 10'34'89
5000mW(18日) 梶光太郎(3) 23'15'63 5位
4x400mR 予 濱野兼多(3)・鈴木悠真(3)・西村拓也(2)・西田瀧太郎(3) 3'20"46
(18日,19日) 決 西田瀧太郎(3)・鈴木悠真(3)・西村拓也(2)・濱野兼多(3) 3'20"15 7位
走高跳(18日) 後藤大毅(2) 1m90 5位 PB
棒高跳(11日) 阿久絵浩(2) 4m30 7位 PB
三段跳(19日) 海野弘隆(3) 12m89(+0.2)
佐々木真(2) 12m85(+1.4)
岡本桂樹(2) 12m24(+0.6)
女子 200m(18日) 安部奏美(1) 26'22(-0.1)
長崎真優(1) 26'52(+2.4)
800m(18日) 森北日和(2) 2'28'90
棒高跳(12日) 吉西知優(2) 3m00 7位 PB
走幅跳(12日) 千葉実鈴(2) 5m11(+2.2)
三段跳(18日) 井本那木子(2) 10m00(-0.2)
槍投(1日) 池野 遥(2) 29m46

■関東高校総体 南関東地区予選会 6月14日~17日 笠松運動公園陸上競技場(茨城県ひたちなか市)
男子 400m(15日) 濱野兼多(3) 決 49'33 8位
走高跳(16日) 後藤大毅(2) NM

■県高校総体横浜地区予選 5月3日,4日 三ツ沢(横浜)
男子 100m(3日) 田中涼太(2) 11'60(+0.1)
200m(4日) 濱野兼多(3) 22'45(-0.6) 2次 22'15(-0.5) 2位
400m(3日) 西田瀧太郎(3) 51'79
西村拓也(2) 52'28
梅澤隆(2) 2'04'55
前川大樹(3) 2'03'65
石田祐輝(2) 4'18'55
伊藤智紀(3) 16'13'63 13位
400mH(4日) 鈴木悠真(3) 55'66 4位
3000mSC(3日) 小室瀧太郎(2) 9'50'56 3位
伊藤智紀(3) 9'58'70 7位
5000mW(4日) 梶光太郎(3) 落雷の影響により中止一県大会出場
4x100mR(3日) 鈴木悠真(3)・濱野兼多(3)・田中涼太(2)・西田瀧太郎(3) 43'51
4x400mR(4日) 濱野兼多(3)・鈴木悠真(3)・西村拓也(2)・海野弘隆(3) 3'23'04 5位
走高跳(3日) 後藤大毅(2) 1m85 3位
棒高跳(3日) 阿久絵浩(2) 4m00 8位
走幅跳(3日) 海野弘隆(3) 6m03(+0.7)
三段跳(4日) 岡本桂樹(2) 12m81(+2.5) 3位
佐々木真(2) 12m67(+1.2) 7位
海野弘隆(3) 12m39(+0.7) 14位

女子 100m(3日) 宮内美咲(1) 13'33(-0.2)
200m(4日) 安部奏美(1) 26'66(+0.5) 2次 26'77(+0.8) 5位
長崎真優(1) 26'48(+2.7) 2次 26'80(+1.4) 6位
800m(4日) 森北日和(2) 2'30'48 15位
1500m(3日) 山森美桜(2) 5'13'65
100mH(3日) 金子菜里奈(1) 17'09(-0.5)
走高跳(4日) 上野涼夏(2) 1m50 2位
棒高跳(3日) 吉西知優(2) 3m00 2位・神高新
走幅跳(3日) 千葉実鈴(2) 5m14(+0.6) 2位
三段跳(4日) 井本那木子(2) 10m07(+0.7) 6位
槍投(4日) 池野 遥(2) 29m44 7位

■神奈川県選選手権 6月22日,23日 三ツ沢(横浜) 30日 等々力(川崎)
男子 200m(30日) 濱野兼多(3) 22'17(+1.7)
400m(22日) 濱野兼多(3) 決 48'70 5位
1500m(30日) 小室瀧太郎(2) 4'05'75 PB
400mH(23日) 鈴木悠真(3) 準 55'33
3000mSC(23日) 小室瀧太郎(2) 決 9'48'63 9位 予 9'37'11 PB
5000mW(22日) 梶光太郎(3) 23'01'76 8位
4x400mR 準 鈴木悠真(3)・濱野兼多(3)・西村拓也(2)・西田瀧太郎(3) 3'19'01 TB
(23日,30日) 決 鈴木悠真(3)・濱野兼多(3)・西村拓也(2)・西田瀧太郎(3) 3'20'08 8位
女子 200m(30日) 宮崎結子(1) 27'80(+0.6)
4x100m(22日) 長崎真優(1)・宮内美咲(1)・千葉実鈴(2)・宮崎結子(1) 50'30
4x400mR 準 長崎真優(1)・安部奏美(1)・北原唯衣(2)・森北日和(2) 4'00'23
(23日,30日) 準 長崎真優(1)・安部奏美(1)・北原唯衣(2)・森北日和(2) 4'01'02
決 長崎真優(1)・安部奏美(1)・北原唯衣(2)・森北日和(2) 3'57'28 6位TB
棒高跳(23日) 吉西知優(2) 3m00 6位
少B100mH 長崎真優(1) 決 15'97(-0.2) 6位
(0.762m)(22日) 金子菜里奈(1) 決 16'13(-0.2) 7位

■横浜地区高校選手権 7月13日,14日 三ツ沢(横浜)
男子 100m(13日) 梅澤隆(3) 11'78(±0)
200m(14日) 濱野兼多(3) (A) 21'94(+0.8) 優勝 予 23'38(+0.1)
400m(13日) 濱野兼多(3) 決(A)48'13 優勝 予 49'31
西田瀧太郎(3) 決(B)51'49 10位PB 予 51'69
5000m(14日) 小室瀧太郎(2) 15'46'87 4位
伊藤智紀(3) 15'48'45 5位PB
土肥愛翔(3) 17'10'96
鈴木裕輝(1) 17'12(-0.4)
串崎博貴(2) 17'88(-0.9)
400mH(14日) 鈴木悠真(3) 決(A)54'09 優勝PB 予 54'57
3000mSC(13日) 伊藤智紀(3) 10'03'88 4位
中原光太(3) 11'05'04
土肥愛翔(3) 11'07'09
4x100mR(13日) 予 佐々木真(2)・濱野兼多(3)・鈴木悠真(3)・佐藤凌介(3) 42'88
決 佐々木真(2)・濱野兼多(3)・鈴木悠真(3)・佐藤凌介(3) 42'98 3位
4x400mR(14日) 予 西村拓也(2)・大石悠太(2)・西田瀧太郎(3)・濱野兼多(3) 3'25'45
決 鈴木悠真(3)・西田瀧太郎(3)・海野弘隆(3)・濱野兼多(3) 3'20'57 優勝
三段跳(14日) 岡本桂樹(2) 13m23(+2.3) 4位 (公認 13m09(-0.4))
海野弘隆(3) 12m73(+0.2)
砲丸投(13日) 川竹大翔(1) 10m17
女子 400m(13日) 長崎真優(1) 決(A)57'79 優勝 予 58'72
800m(14日) 森北日和(2) 決(B)2'28'30 10位 2'28'58
北原唯衣(2) 決(B)2'31'78 15位 2'28'68
1500m(13日) 上條百翔(2) 決 5'11'87 11位 5'14'42
山森美桜(2) 決 5'16'93 14位 5'11'24
3000m(14日) 上條百翔(2) 11'13'27 8位
高橋光希(1) 11'30'13
山森美桜(2) 11'42'52
宮崎結子(1) 17'21(+0.2)
4x100mR(13日) 予 長崎真優(1)・宮内美咲(1)・千葉実鈴(2)・宮崎結子(1) 50'05
決 長崎真優(1)・宮内美咲(1)・千葉実鈴(2)・宮崎結子(1) 49'98 2位
4x400mR(14日) 予 北原唯衣(2)・長崎真優(1)・伊達瑞葉(1)・森北日和(2) 4'08'44
決 北原唯衣(2)・森北日和(2)・宮崎結子(1)・長崎真優(1) 4'05'58 2位
走高跳(14日) 上野涼夏(2) 1m50 3位
棒高跳(13日) 吉西知優(2) 2m80 2位
走幅跳(13日) 千葉実鈴(2) 5m09(+0.9) 4位
三段跳(14日) 井本那木子(2) 10m18(+0.3)
円盤投(14日) 池野 遥(2) 23m87
槍投(13日) 池野 遥(2) 30m55 4位

■日体大長距離記録会 6月1日,2日 日体大健志台キャンパス競技場(横浜)
男子 1500m(1日) 小室瀧太郎(2) 4'08'59
伊藤智紀(3) 4'14'55
石田祐輝(2) 4'17'25
土肥愛翔(3) 4'19'10
日向優希(3) 4'21'88
二見和樹(3) 4'23'14
5000m(2日) 小室瀧太郎(2) 15'33'59
伊藤智紀(3) 15'55'22
日向優希(3) 17'01'38PB
二見和樹(3) 17'11'19PB

■神奈川県高校新人戦 9月14,15日 相模原ギオンスタジアム(相模原) 21,22日 ShonanBMWスタジアム(平塚)
男子 100m(15日) 佐々木真(2) 11'28(+1.7)
1500m(14日) 石田祐輝(2) 4'24'44
5000m(21日,22日) 小室瀧太郎(2) 予 15'48'81 決 15'29'91 10位 PB
400mH(15日) 鈴木悠真(3) 60'30
3000mSC(14日,15日) 小室瀧太郎(2) 予 9'57'58 決 9'54'80 5位
4x400mR(22日) 予 松本瑞生(2)・佐々木真(2)・岸本蒼大(1)・大石悠太(2) 3'28'77
走高跳(21日) 清水優太(1) 1m90 2位 PB
後藤大毅(2) 1m85
阿久絵浩(2) 4m30 6位
走幅跳(14日) 佐々木真(2) 6m75(+1.7) 6位 PB
三段跳(22日) 木村颯太(1) 12m96(+1.7)
円盤投(22日) 川竹大翔(1) 26m80
100m(15日) 宮内美咲(1) 12'83(+1.7) 準 12'75(+1.2)PB
200m(21日) 安部奏美(1) 25'84(+1.8) 準 25'53(+1.6)PB
宮内美咲(1) 26'14(+2.6) 準 26'43(+1.6)
800m(21日) 森北日和(2) 2'28'01
1500m(14日) 山森美桜(2) 5'11'16
北原唯衣(2) 5'16'51
3000m(21日) 上條百翔(2) 10'59'05PB
伊達瑞葉(1) 11'07'23
4x100mR(14日,15日) 予 宮内美咲(1)・宮崎結子(1)・千葉実鈴(2)・安部奏美(1) 49'95
決 宮内美咲(1)・宮崎結子(1)・千葉実鈴(2)・安部奏美(1) 49'93 8位

走高跳(14日) 上野涼夏(2) 1m54 6位
棒高跳(15日) 吉西知優(2) 2m90 6位
走幅跳(15日) 千葉実鈴(2) 5m33(+2.5) 6位 公認5m21(+1.7)
槍投(21日) 池野 遥(2) 32m34 6位 PB
7種競技(21日,22日) 宮崎結子(1) 3007 点
17'07(+0.1),1m35,5m07,27'46(+1.5),4m45(+3.7),9m31,2'41'01
■関東高校新人 10月19日,20日 千葉県総合スポーツセンター東総運動場陸上競技場(千葉県旭市)
男子 3000mSC(19,20日) 小室瀧太郎(2) 予 9'40'12
走高跳(20日) 清水優太(1) 1m85
■神奈川県高校新人戦横浜地区予選会 8月31日,1日 於三ツ沢(横浜)
男子 100m(31日) 佐々木真(2) 11'39(+0.4) 2次 11'26(-0.1)
400m(31日) 松本瑞生(2) 2次 52'67
岸本蒼大(1) 2次 52'77
石田祐輝(2) 4'28'94 2次 4'15'42 11位
1500m(31日) 小室瀧太郎(2) 16'14'72 6位
5000m(1日) 鈴木悠真(3) 60'79 14位
400mH(1日) 串崎博貴(2) 64'20
3000mSC(31日) 小室瀧太郎(2) 10'21'31 4位
4x400mR(1日) 松本瑞生(2)・大石悠太(2)・鈴木悠真(3)・佐々木真(2) 3'31'09 15位
走高跳(31日) 後藤大毅(2) 1m85 6位
清水優太(1) 1m85 7位
棒高跳(31日) 阿久絵浩(2) 4m00 5位
走幅跳(31日) 佐々木真(2) 6m35(-0.4) 6位
三段跳(1日) 岡本桂樹(2) 12m89(+0.4) 2位
木村颯太(1) 12m26(-1.2) 13位
砲丸投(31日) 川竹大翔(1) 9m85 13位
円盤投(1日) 川竹大翔(1) 25m85 12位
100m(31日) 宮内美咲(1) 12'99(-0.5) 2次 13'04(-0.4) 4位
200m(1日) 安部奏美(1) 26'11(+0.6) 2次 25'95(+1.5) 2位
長崎真優(1) 26'60(+0.1) 2次 26'41(+0.2) 4位
宮内美咲(1) 26'83(+1.0) 2次 26'64(+0.5) 5位
長崎真優(1) 59'22 2位
森北日和(2) 62'86
800m(1日) 森北日和(2) 2'32'34 16位
1500m(31日) 北原唯衣(2) 5'02'36 8位
山森美桜(2) 5'11'36 16位
上條百翔(2) 11'04'51 10位
伊達瑞葉(1) 11'23'76 14位
高橋光希(1) 11'29'13
4x100mR(31日) 長崎真優(1)・宮内美咲(1)・千葉実鈴(2)・宮崎結子(1) 50'29 3位
4x400mR(1日) 森北日和(2)・宮内美咲(1)・千葉実鈴(2)・宮崎結子(1) 4'13'29 2位
走高跳(1日) 上野涼夏(2) 1m54 2位
棒高跳(31日) 吉西知優(2) 3m00 2位
走幅跳(31日) 千葉実鈴(2) 5m13(+1.1) 3位
槍投(31日) 池野 遥(2) 32m25 1位

■横浜地区新人 10月26日,27日 三ツ沢(横浜)
男子 100m(26日) 佐々木真(2) 11'38(+0.2) 準 11'29(-1.0)
田中涼太(2) 11'60(-1.2) 準 11'70(±0)
山崎圭祐(1) 11'62(+0.5) 準 11'71(-0.5)
400m(26日) 岸本蒼大(1) 52'32
松本瑞生(2) 52'45
西村拓也(2) 52'52
濱野兼多(3) 4'27'45
久世浩二(1) 16'22'98
大石 克(2) 16'33'69
松永直之(2) 17'46'42
110mH(26日) 鈴木悠真(3) 16'72(+0.1)
400mH(27日) 鈴木悠真(3) 60'09
4x100mR(26日) 予 山崎圭祐(1)・鈴木悠真(3)・木村颯太(1)・野崎悠輝(1) 44'77
4x400mR(27日) 予 西村拓也(2)・岸本蒼大(1)・大石悠太(2)・松本瑞生(2) 3'28'12
決 西村拓也(2)・岸本蒼大(1)・大石悠太(2)・松本瑞生(2) 3'26'36 7位
走高跳(26日) 後藤大毅(2) 1m85 7位
棒高跳(20日) 阿久絵浩(2) 4m00 5位
走幅跳(26日) 佐々木真(2) 6m26(+1.0)
砲丸投(26日) 川竹大翔(1) 10m56
円盤投(27日) 川竹大翔(1) 30m63 PB
100m(26日) 宮内美咲(1) 準 12'80(+0.1) 決 12'72(-0.3) 2位
200m(27日) 宮内美咲(1) 準 26'56(+0.2) 決 26'25(+1.0) 4位
400m(26日) 長崎真優(1) 59'42 決 58'93 4位
800m(27日) 森北日和(2) 2'32'53
100mH(26日) 金子菜里奈(1) 17'18(-0.2)
400mH(27日) 金子菜里奈(1) 72'97
走高跳(27日) 上野涼夏(2) 1m54 2位
棒高跳(26日) 吉西知優(2) 2m70 3位
走幅跳(26日) 千葉実鈴(2) 5m21(-1.0) 6位
槍投(26日) 池野 遥(2) 29m60 3位

■神奈川県高校駅伝 11月4日 城山(小田原) 区間タイム(順位) 累計タイム(順位)
男子 1区 10000m 小室瀧太郎(2) 34'25'88(43) PB
2区 3000m 濱野兼多(3) 9'39'84(29) PB 44'05'72(40)
3区 8000m 伊藤智紀(3) 28'20'23(43) 1:12'25'95(39)
4区 8000m 久世浩二(1) 26'19'15(12) 1:38'45'10(25)
5区 3000m 二見和樹(3) 10'16'78(41) 1:49'01'88(32)
6区 5000m 松永直之(2) 17'23'38(43) 2:06'25'26(33)
7区 5000m 大石 克(2) 16'15'44(16) PB 2:22'40'70(32)
総合成績(42km) 2:22'41" 32位
女子 1区 6000m 上條百翔(2) 2:25'01'49(31)
2区 4000m 山森美桜(2) 15'23'19(1) 40'24'68(25)
3区 3000m 北原唯衣(2) 11'31'22(14) 51'55'90(22)
4区 3000m 高橋光希(1) 11'25'36(10) 1:03'21'26(17)
5区 5000m 伊達瑞葉(1) 19'12'99(21) 1:22'34'25(16)
総合成績(21km) 1:22'35" 16位
※台風19号の影響により、例年の丹沢湖周辺コースではなく、トラックレースにて実施されました。

■東海大長距離記録会 11月24日 東海大湘南キャンパス(平塚)
男子 1500m(24日) 大石 克(2) 4'07'67 PB
女子 3000m(24日) 伊達瑞葉(1) 11'11'07

■横浜市記録会 6月15日,16日 於三ツ沢(横浜)
男子 200m(15日) 佐藤凌介(3) 23'49(+2.3)
梅澤隆(3) 23'52(+3.0)
400m(16日) 西村拓也(2) 51'72
5000m(15日) 伊藤智紀(3) 15'52'08
土肥愛翔(3) 16'59'44 PB
4x400mR(16日) 鈴木悠真(3)・西村拓也(2)・梅澤隆(3)・海野弘隆(3) 3'25'70

【OB、OGの活躍】

ここ数年卒業してからも競技を続けるOB、OGが増えております。詳しくは別表をご覧ください。

昨年、特筆すべきは、高橋葉子さん(高30)マスタートーズM60 100m日本新記録、2017年にトレーニングを再開してから昨年は、年代別の日本新記録を樹立しめざましい活躍です。また、藤沼朱音さん(高



藤沼さん(高66)



471番 薄田さん(高68)

なのでぜひがんばってください。みんなで応援しましょう。司代 隼さん(高70)の箱根駅伝学連選抜入りしました。オールJ新年会で同級生の女子(?)に「箱根駅伝の学連選抜に希望ヶ丘の卒業生入ってない？」と聞かれ改めて箱根駅伝の注目度の高さを認識しました。司代さんはまだ大学2年で、やっとトレーニングについて行けるようになり記録が伸び始めた



森島さん(高35)



佐藤さん(高35)



高須さん(高67)

春、調子を崩していた時期にお話を聞いたところ、「高校の時に調子を崩し、克服した経験で今何をすれば良いかが判っており、会社側からの理解が得られて



今村さん(高66)

ころです。後2年機会があるのを期待しましょう。今村咲織さん(高66)は、大学を卒業したあと調子を崩していましたがやっとな復活の兆しがあります。昨年の秋の日体大記録会、12月の全日本クロスカントリーで再復活です。棒高跳びの高須莉喜さん(高67)は、一昨年の春先にアキレス腱断裂の大怪我で2ヶ月入院、その後、大学を卒業し大学院に進み再び競技に復帰しております。3年次に5m20を跳び、次の年5m30、日本インカレ入賞を目指しておりますでしたが好調の春先の横浜市記録会でアキレス腱断裂で中断しました。約1年半のリハビリ、トレーニングの結果、日本インカレ、横浜市民選手権で4m80と復帰、5mも見えてきております。今シーズンは標準記録の5m10を跳んで再び日本インカレを目指します。竹内俊樹さん(高61)一昨年の4月に保土ヶ谷高校に異動になり数学の教員、陸上部顧問を務めております。記



浅田さん(高67)



上岡さん(高67)



高橋さん(高67)



鶴田さん(高39)

録会では、5000mを走り生徒を引っ張って記録を狙わせたり、本人は、福岡国際マラソンに出たり精力的に活動しております。また、旭区のブーラシア駅伝にOB、OGが多数参加しており、櫻蔭Jクラブでは、佐藤俊一さん、成見洋二さん、森島清隆さん、浦部歩さん(いずれも高35) 鶴田健さん(高39)で出場し壮年男子の部で7位4名が55歳としては素晴らしい快走でした。スクーデリア長津田で出場した、高橋 巧さん、瀬能展也さん、上岡新平さん、浅田峻輔さん(いずれも高67)当初は、松村さん(高67)の予定でしたが当日都合が悪く別の方が走りましたが一般男子の部で優勝しました。OBOGの皆様、現役継続 復帰された方、大会に出場しました方、大会に出場しました方、結果の連絡をお願いいたします。会報に掲載したいと思っております。

2019年 OB、OGの活躍

<p>■手塚文雄 高17 200m 30"73(+3.5) 神奈川マスターズ記録会 5月19日</p> <p>■高橋葉子 高30 60m 9"05 全日本マスターズ選手権大会 9月13日 正田醤油スタジアム 100m 14"85(-1.1) 第36回神奈川マスターズ陸上競技選手権 7月26日 大和スポーツセンター ※日本新記録 14"39(+1.4) 全日本マスターズ選手権 9月14日 正田醤油スタジアム 200m 30"64 第36回神奈川マスターズ陸上競技選手権 7月26日 30"77(-2.3) 全日本マスターズ選手権大会 9月15日 正田醤油スタジアム</p> <p>■佐藤俊一 高35 ハーフマソン 1:29'37" 千葉マリンマソン 12月1日 3:32'11" 函館マソン 7月7日</p> <p>■鶴田健志 高39 ハーフマソン 1:24'39" 南アルプス桃源郷マソン 4月14日 マソン 2:56'31" 黒部名水マソン 5月26日 2:55'53" 長野マソン 4月21日</p> <p>■浜崎安純 高40 ハーフマソン 1:44'41" 山形まるごとマソン 10月6日</p> <p>■佐藤克二 高43 ハンマー投げ 38m83 2019年度横浜市民体育大会 4月21日 三ツ沢競技場</p> <p>■角 孝平 高54 100m 13"06(-1.8) 第32回埼玉マスターズ 7月28日 走り幅跳 5m47(+3.0) 第32回埼玉マスターズ 7月28日</p> <p>■木村研太 高53 砲丸投 13m50 第1回神奈川県記録会 4月13日 等々力競技場 13m08 第74回神奈川陸上競技選手権 6月23日 三ツ沢競技場</p> <p>■竹内俊樹 高61 3000m 9'25"71 東海大記録会 11月24日 3000mSC 10'20"99 2019横浜陸上競技選手権大会 10月6日 三ツ沢競技場 マソン 2:41'56" 第73回福岡国際マソン 12月1日</p> <p>■岸 一輝 高64 110mH 14"57 第63回北陸陸上競技選手権大会 14"50(-0.3) 第61回富山県陸上競技選手権大会 7月14日 富山県総合運動公園 100m 11"15(+1.0) 第48回富山県実業団陸上競技選手権大会 6月22日 魚津桃山運動公園</p> <p>■望月拓巳 高64 200m 25"32 2019年度横浜市民体育大会 4月13日 三ツ沢競技場</p> <p>■北澤拓治 高65 100m 11"27 日体大記録会 7月22日 110mH 15"77 日体大記録会 7月22日</p> <p>■青柳良英 高66 800m 1'51"96 ホクレンディスタンスチャレンジ士別 7月13日 士別市陸上競技場 1'52"12 ホクレンディスタンスチャレンジ深川 7月9日 深川市陸上競技場 1'52"16 第98回関東学生 3部 5月25日 相模原ギオンスタジアム 1500m 3'52"01 2位 第74回神奈川陸上競技選手権 6月30日 等々力競技場 3'57"72 第88回日本学生陸上 予 9月12日 岐阜長良川競技場</p> <p>■今村沙織 高66 5000m 16'33"02 第20回日本体育大学女子長距離競技会 16'44"97 第275回 日本体育大学長距離競技会 10k 29'30" 第103回日本陸上競技選手権クロスカントリー</p>	<p>■藤沼朱音 高66 200m 24"90 第74回神奈川陸上競技選手権大会 6月30日 等々力競技場 400m 55"20 優勝 第74回神奈川陸上競技選手権大会 6月22日 三ツ沢競技場 54"75 優勝 関東選手権 ※日本選手権標準(64"80)突破 8月24日 正田醤油スタジアム</p> <p>■高須莉喜 高67 棒高跳 4m60 第98回関東学生選手権 3部 5月26日 相模原ギオンスタジアム 4m80 第88回日本学生陸上選手権 9月12日 岐阜長良川競技場 4m80 2019横浜陸上競技選手権 10月6日 三ツ沢競技場</p> <p>■瀬能展也 高67 3000mSC 9'52"23 2019年度横浜市民体育大会 4月21日 三ツ沢競技場 ハーフマソン 1:17'01" 第42回神奈川マソン マソン 2:58'59" 大阪マソン 12月1日</p> <p>■川村知樹 高68 800m 1'57"01 第269回日本体育大学長距離記録会 1500m 4'04"96 東海大記録会 7月6日</p> <p>■川島 稜 高68 800m 1'58"46 第269回日本体育大学長距離記録会</p> <p>■高橋 巧 高67 5000m 15'28"23 第275回日本体育大学長距離記録会 12月1日 15'35"20 14大学戦 6月23日</p> <p>■山本明良 高68 100m 10"82 日体大記録会 7月22日 三ツ沢競技場 200m 21"90(+1.2) 2019年度横浜市民体育 4月13日</p> <p>■薄田健太郎 高69 800m 1'50"43 第2回筑波大学記録会 4月21日 1'49"94 静岡国際陸上競技大会 5月3日 エコパスタジアム 1'48"69 ホクレンディスタンスチャレンジ 7月13日 士別市陸上競技場 1'50"03 第98回関東学生陸上競技対校選手権 5月26日 相模原ギオンスタジアム 1'49"69 第88回日本学生陸上競技対校選手権 9月14日 岐阜長良川競技場</p> <p>■司代 隼 高70 1500m 3'57"08 第269回日本体育大学長距離記録会 5000m 14'58"24 第187回東海大記録会 7月7日 10000m 30'28"81 第272回日本体育大学長距離記録会 9月21日 ハーフマソン 1:05'50" 箱根駅伝予選会 10月26日</p> <p>■小笠原光 高70 800m 1'57"93 第269回日本体育大学長距離記録会</p> <p>■小河 弘樹 高70 5000m 17'42"68 第269回日本体育大学長距離記録会</p> <p>■山田大生 高71 5000m 16'08"63 東海大記録会 11月24日 1500m 4'19"29 東海大記録会 7月6日</p> <p>■小坂夏月 高71 走高跳 1m60 2019横浜陸上競技選手権大会 10月6日 三ツ沢競技場</p> <p>■旭区駅伝大会(ズーラシア駅伝) 櫻蔭陸友クラブ 男子壮年の部 7位 佐藤俊一(高35)成見洋二(高35)森島清隆(高35)鶴田健(高39)浦部 歩(高35)</p> <p>スクーデリア長津田 男子一般の部 1位 高橋 巧(高68)瀬能展也(高67)上岡新平(高67)浅田峻輔(高67)</p>
--	--

令和元年度 会計報告

■収入		■支出	
運営費(42人)	126,000 円	会報印刷	29,578 円
現役支援金	313,642 円	会報発送メール便	41,714 円
総会会費	0 円	封筒	26,028 円
昨年度繰り越し	585,813 円	HP維持セキュリティ管理	3,808 円
		振り込み手数料	3,668 円
		ホームページ用パソコン	60,523 円
		All J葉書代	3,000 円
① 収入合計	1,025,455 円	② 経費合計	168,319 円
■高66、67、68、69卒業生からの預かり金		③ 現役、OB支援合計	123,352 円
④預かり金	520,000 円	⑤オールウエザーマット	275,400 円
		⑥預かり金残④-⑤	244,600 円
		①+⑥-②-③残額	978,384 円

上記のとおり報告いたします。

事務局会計担当 熊谷 隆 令和2年3月31日



【会計報告】
昨年度の会計報告です。総会が開催出来なかった関係で総会時の費用が減っております。

左記の42名の方からいただきました。大切に使用させていただきます。

石清水寛	中48	石原洋二	高4	有年 瑛	高4	小林清春	高9
岸 勝義	高15	座間常子	高16	古屋篤男	高17	手塚文雄	高17
横田美佐子	高19	神崎和夫	高21	熊谷 隆	高22	岩下幸生	高23
平本 徹	高24	木谷充志	高25	左伴繁雄	高26	広川潤一郎	高26
室橋富美男	高26	池田純子	高26	櫻井良宏	高26	田中 昭	高28
遊佐克哉	高28	柳沢幹彦	高28	寺澤富雄	高29	遠藤孝一	高30
長谷川直人	高30	本田和幸	高31	高梨秀徳	高32	小林萬亀子	高32
白河ゆかり	高32	青柳佳治	高33	小金井裕之	高36	外山春彦	高39
尾藤智彦	高39	浜崎安純	高40	佐藤陽一	高40	吉家奈保美	高41
佐藤克二	高43	古谷貴男	高47	木村研太	高53	角 孝平	高54
高橋翔太	高64	春日 紗	高66				

敬称は略させていただきます。

大切に使用させていただきます。

【現役支援報告】

走り高跳び 踏切部オールウエザーマット交換



練習時のスパイク跡等で走り高跳びの踏切部が傷み、踏切時に違和感があるためオールウエザーマットを購入して敷き直しました。費用は、高66と68の預かり金で購入させていただきました。マットは1.2m×15mなので半分を上記の写真の様に敷き、残りを今後の交換用として残しました。

(会計報告⑤参照)

倉庫内長尺用ラック設置



倉庫内が混雑しており、壁に掛けてある走り高跳びのバーが落下したり、棒高跳びポールが屋外に置いてあり劣化等が懸念されました。バーやポールを倉庫内に置けるよう長尺ラックを作成しました。OB会で図面を作成し、材料は、足場パイプ、ジョイントをホームセンター

ターで購入し、走り高跳び、棒高跳びの現役部員が組み立てました。自分たちでも出来る良い見本になりました。(会計報告③参照)

走り高跳び、棒高跳びマット補修

マット類はグラウンドに置いてある関係で日光、雨等で劣化します。角部や上面の一部が破れたりしており、跳躍練習時に足を突っ込んだりして怪我する場合があります。



走り高跳び踏切板設置



ります。今回補修用テープをOB会で購入し、破れている部分を補修しました。走り高跳びのマットは、上側を覆っているカバーが破れており補修を行いました。しかし、近い将来補修が出来なくなります。カバーは、交換可能なので補修が出来なくなったら購入をお願いします。



2年生の佐々木さん、千葉さんが走り高跳びで好記録を出し、新人戦でも入賞しました。来シーズンのことを考えて、また新納顧問からの要望で倉庫にあった未使用の幅跳びの踏切板を埋め込み設置しました。当初、踏切板を設置するボックスを購入することも考えたのですが、ニシで25万円もすることが判り、しかも競技場用で毎回踏切板を設置する構造です。今回は、専用の踏切板を入れるボックスを設計し、板金加工で製作しました。現役部員みんなで駐車場にあるコンクリート製の車止めをボックス周囲に埋め込み設置しました。踏切の感触は競技場に近いと好評でした。

【お知らせ】

■手塚さん（高17）の叙勲

令和元年 春の叙勲（令和元年5月21日付け発令）、教育功労で、手塚文雄さん（高17）が瑞宝双光章を叙勲されました。おめでとう御座います。

5月28日に国立劇場大劇場で授与式があり、その後、皇居で天皇陛下にお目に掛かったそうです。



勲章は、国や公共のために功労があった方を、国として表彰するもので社会や多くの人のために重要な仕事をした人、目立たなくても大切な仕事をこつこつと長年続けた人、誰かを救うために力を尽くした人——そうした人や仕事ぶりに、光を当てる仕組みです。国や公共のために功労のあった方、社会の各分野において優れた行いのあった方などに対し、国としてその功績や業績を表彰するために、「栄典制度」が設けられています。その荣誉のしるしとして勲章や褒章が授与されます。

勲章制度は明治8年（1875年）、褒章制度は明治14年（1881年）に創設されました。我が国の「栄典制度」は明治以来の長い歴史と伝統があります。

■平本会長 横浜市スポーツ功労賞受賞

令和元年度 平本 徹さん（高24）が横浜スポーツ表彰の スポーツ功労賞 の受賞されました。

横浜市体協に加盟する競技各団体から毎年1名、横浜市陸上競技協会より推薦され、1月24日授賞式後「新春横浜スポーツ人の集い」（文化体育館）で披露さ

れました。横浜市長名で盾、体協会長名で賞状をいただきました。永年にわたり、横浜における体育・スポーツの進歩・発展に顕著な功績をなした者が対象者とのことです。

【運営費・現役支援金 納入のお願い】
櫻蔭陸友会は

「OB、OG会員相互の親睦、交流、支援及び希望ヶ丘高等学校陸上競技部の現役支援を行う」趣旨の元、OB、OGからの寄付で成り立っております。OB、OGの皆様、運営費、現役支援金よろしく願います。

運営費3千円＋現役支援金
（現役支援金の金額は任意）

■ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方
ご自身の口座から左記の『櫻蔭陸友会』口座に振替にて送金、振り込みで送料100円ご負担お願いいたします。

■ゆうちょ銀行に口座をお持ちでない方
郵貯銀行の窓口で同封の振込み用紙を御利用ください。手数料は櫻蔭陸友会で負担します。あるいは、みずほ銀行の口座に振り込みをお願いします。

■振込み先
「ゆうちょ銀行」

記号10050 番号71692431
名称・オウインリクユウカイ（櫻蔭陸友会）
従来の様に、郵貯銀行に口座をお持ちの方は口座間の振り替えには手数料（100円）がかかります。

「みずほ銀行」
店番号066（みずほ銀行新宿中央支店）
口座番号 2387258

名称・クマガイ タカシ
また、昨年度は振込み手数料として3668円（OB・OG会負担）がかかりました。事務局としても経

費削減のため電子メールやSNSによる通信費削減に取り組みますので出来るだけ口座振替をお願いいたします。
昨年度は、走り高跳びの有望な男子1年生が加わり走り高跳びピット踏切部のオールウエザーマットを直しました。シートは輸入品で1枚27万円と高価なので現役支援金もよろしく願います。

【事務局からのお願い】

■会報の問い合わせ

以前にもお知らせしたように、運営費削減の関係で、全ての会員の方に会報をお送り出来ておりません。会報の発送は、ホームページの掲示板でお知らせします。会員の皆様に同期、他のOB、OGの方から「会報が来ないけど？」等の問い合わせが御座いましたら、ホームページの掲示板、あるいは、本会報の最終ページにあります事務局に連絡をいただけるようお願いいたします。お申し出いただいた方には別途お送りします。

■事務局メンバー募集（木谷）

会長の御挨拶にありますように、昨年度は、新人戦の後、私が体調を崩したり、事務局メンバーの仕事が忙しくなり、総会の準備が出来なくなりました。また2023年には創部100周年を迎えます。OBOGの皆さん、事務局に参加して現役や色々な世代間の交流を図りませんか。子育てが終わられた方、定年退職されて時間が出来た方、また、自分がやりたいと思う分野でもかまいません。私は、現役の時に出来る悪い部員でしたので、何か部に貢献したいと思ひ、現役支援、練習環境整備を行うために参加しました。おかげさまでオールウエザー走路の敷設、棒高跳び復活が出来、大分インターハイの時は現地まで同行し現役部員のサポートを行いました。

OB、OGの皆さん是非事務局内の負荷分散を図り、会の運営を創部100周年に向け、今後も続けていけるよう御協力をお願いいたします。

■会報原稿のお願い

現役の頃の素晴らしい思い出、近況、何でもかまいません。会報に載せてみませんか。執筆いただける方、また、ご自身の競技、陸上部に関する画像がございましたら、左記OB・OG会事務局に連絡をお願いいたします。

【編集後記】

今回の表紙は、昨年の関東選手権400mで54秒75で優勝し全日本選手権標準を突破した藤沼さん(高66)のゴールと、47秒98の好記録で県総体2位の濱野さん(高72)の4コーナーです。

最近、コロナウイルスの影響で学校は休校、部活も休止、県総体、関東大会は中止、東京オリンピックは1年延期、インターハイもどうなるか危惧される状態で、現役の部員、OB、OGの競技の機会が失われるのを心配しております。

また事務局では、会報の発送等で事務局メンバーが集まるのも問題があると考え今回ホームページからダウンロード出来る様にしました。ダウンロード版の連絡先等はセキュリティの関係で削除してあります。何か御座いましたらホームページの掲示板に書き込みをお願いします。書き込み時にメールアドレスを記入願います。

OB、OGの皆さんコロナウイルスの緊急事態宣言が発出されている中、不要不急の外出自粛等が叫ばれております。くれぐれも感染されませぬよう、万が一感染されても他人に遷さぬようご注意ください。

この未曾有の災難を乗り越え、来年の東京オリンピック、2023年の創部100周年を迎えようではあ

りませんか。

■本年度は、昨年と同様のメンバーで運営いたします。

会長 平本 徹(高24)

副会長 木谷充志(高25) 池田純子(高26)

事務局 横田美佐子(高19) 熊谷 隆(高22)

本田和幸(高31) 小林萬亀子(高32)

中島幸宏(高38) 井出賢志(高65)

高橋裕亮(高65)

顧問 (先輩として)ご意見を賜ります

有年 瑛(高4 元会長)

小林清春(高9 元会長)

座間常子(高16 前会長)

古屋篤男(高17)

敬称は略させていただきます。

大会	会場	開催日
横浜市民大会	中止	4/11、18、19
総体地区予選	中止	5/2、3
県総体	中止	5/16、17
	中止	5/23、24
関東大会	中止	6/19~22
県選手権	三ツ沢	6/21
	三ツ沢	6/27、28
横浜地区高校	三ツ沢	7/11、12
インターハイ	エコパスタジアム(静岡)	8/12~16
国体予選、県記録会	三ツ沢	8/22、23
関東選手権	中銀スタジアム(山梨)	8/21~23
新人戦地区予選	三ツ沢	8/31、9/1
県新人戦	三ツ沢	9/19、20
	県体育センター	9/26、27
国体	鴨池(鹿児島)	8/4~8
横浜市選手権	三ツ沢	10/3、4、10
全日本ジュニア・ユース	エディオンスタジアム(広島)	10/23~25
横浜地区新人	三ツ沢	10/17、18
関東新人	群馬	10/24、25
県高校駅伝	丹沢湖	11/1
関東高校駅伝	栃木 佐野	11/21
OB・OG総会	希望ヶ丘食堂	11/22

【現役を応援しよう】

今年に入ってからからのコロナウイルスの影響で、横浜市民大会、県総体、関東大会が中止になった様に今後大会がどのようになるか余談を許さない状況であります。現在のところ左上記載の様な日程で開催されます。神奈川県陸協、横浜市陸上競技協会のホームページで今後の開催等の情報が掲載されますので確認の上応援にお願いいたします。

【訃報】

●佐藤昇一(中34)

●森山清(高3)

●美濃口重雄(高13)

●荒川裕哉(高45)

ご冥福をお祈りします。

●小高嘉郎(中38)

●細野靖夫(高6)

●赤間繁治(高17)

櫻蔭陸友 第21号
令和2年4月1日発行



発行元：櫻蔭陸友会
(神中・神高・希望ヶ丘高校陸上競技部OB・OG会)
〒245-0002
横浜市泉区緑園 4-2-1-3-202

事務局への連絡について
古屋 篤男(高17)、木谷 充志(高25)
下記ホームページの掲示板よりお願いします。
投稿する際にメールアドレスを記入する項目があります。メールアドレスは管理人のみが確認出来、表示されません。
必要に応じて事務局から連絡を差し上げます。
陸上競技部ホームページ

<http://kac.tuzikaze.com/>

管理人 西村雄介(高46)

※OB、OGの掲示板への書き込み歓迎します。